

技術・家庭科（技術分野）の改訂の方向性（たたき台案）

平成28年2月17日教育課程部会
家庭・技術・家庭ワーキンググループ
資料10

現行学習指導要領

A 材料と加工に関する技術

- (1) 生活や産業の中で利用されている技術
- (2) 材料と加工法
- (3) 材料と加工に関する技術を利用した製作品の設計・製作

B エネルギー変換に関する技術

- (1) エネルギー変換機器の仕組みと保守点検
- (2) エネルギー変換に関する技術を利用した製作品の設計・製作

C 生物育成に関する技術

- (1) 生物の生育環境と育成技術
- (2) 生物育成に関する技術を利用した栽培又は飼育

D 情報に関する技術

- (1) 情報通信ネットワークと情報モラル
- (2) デジタル作品の設計・制作
- (3) プログラムによる計測・制御

検討事項

技術分野の見方や考え方

社会で利用されている技術について、物質、生物、エネルギーや情報の特性に着目するとともに、技術の利用に当たり、倫理観をもち、安全性、社会からの要求、環境負荷、費用等を踏まえる見方や考え方

「論点整理」における指摘事項

- ・技術と社会・環境との関わりの理解の充実
- ・プログラミングや情報セキュリティ等も含めた情報活用能力の育成等の充実
- ・小学校図画工作科、高等学校情報科、職業に関する教科・科目等との関連
- ・育成すべき資質・能力の明確化
- ・技術に関する科学的な理解
- ・技術を適切に評価・活用し、安心・安全な生活の実現に貢献できる力
- ・技術を創造し、よりよい社会を構築できる力

今後の方向性(案)

目指す資質・能力等

○技術に関する科学的な理解（技術に関する知識・技能）

社会で利用されている主な技術についての知識・技術、及びそれらと社会や環境との関わりの理解。

○技術を用いてよりよい生活を工夫し創造する能力

技術を用いてよりよい生活を工夫し創造できるよう、技術分野固有の見方や考え方を踏まえ、技術を選択、管理・運用したり、自分なりの新しい考え方やとらえ方によって改良、統合したりできる能力

○技術を用いてよりよい生活を工夫し創造していこうとする態度

技術について関心をもち、持続可能な社会を構築するために、適切かつ誠実に技術を用いてよりよい生活を工夫し創造していこうとする態度

内 容

A 材料と加工の技術

- 社会を支える材料と加工の技術
- 材料と加工の技術による問題解決
- 社会の発展と材料と加工の技術

B 生物育成の技術

- 社会を支える生物育成の技術
- 生物育成の技術による問題解決
- 社会の発展と生物育成の技術

C エネルギー変換の技術

- 社会を支えるエネルギー変換の技術
- エネルギー変換の技術による問題解決
- 社会の発展とエネルギー変換の技術

D 情報の技術

- 社会を支える情報の技術
- コンピュータ・ネットワークによる問題解決
(動的コンテンツのプログラミング)
- 機器の自動化による問題解決
(計測・制御のプログラミング)
- 社会の発展と情報の技術